

# 「三方良しの公共事業改革」 フォーラム

## CCPM One Day Response



# 2年目のCCCPM



工事内容

道路土工

路体盛土工……………29,500m<sup>3</sup>

地盤改良工

サンドマット工……………6,410m<sup>2</sup>

# 偶然のOne day Response

867本

4セット

1式

1式

1式

発注者 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所



# CCPM工程計画で何が変わったか？

実際計画した工程には、必ずズレが生じてくる。サバを取り除いた工程は当然のように遅れる。計画工程が遅れバッファが侵食されることで、今までの直感として利益が落ち込むと感じた。

バッファ管理としては、「黄色になったら対策を検討」ということだが、バッファが侵食され黄色になってから対策したのでは遅いと感じてくる。

**現場での改善は今までもやってきたことですが、対応するタイミングは明らかに遅かった。遅れに対し敏感に反応していなかった。何故なら、“ダラダラ工程表”では遅れに対して最終着地点が見えていなかったのでしょう。**

# CCPMから学んだこと

- 1 . 工事を進めるために一番大切なものは、工程表を基にしたマネジメントであると体感しました。
- 2 . データーを共有したことで、**先を読んだ意思の統一**が出来るようになった。
- 3 . 全体工程を見ることによって、個々の作業の重要さと変化する**現場工程の最終着地点を考えマネジメント**するようになった。  
全体の視野から一日一日の作業を見る視点が養われました。
- 4 . サバ無しで発注者と打ち合わせることにより、**互いに信頼が深まった**。  
発注者が今の仕事のやり方で利益が上がるのかを気にかけてくれた。  
**発注者と共に考え施工している**ことが実感できた。
- 5 . あと何日？で現場工程を普通に考えるようになり、次工程への打合せ、段取りミスの防止になる。
- 6 . 工程表のバッファを見て、一喜一憂して仕事をするようになり、**現場内が明るく**なった。

# 札幌道路事務所第2工事課 担当監督官のコメント

- 現場コストを常に意識して仕事を進める
- 請負者からの質問や疑問に早く応えるのは当然！
- 工事は先読みが大切、これから何が起きるのかシュミレーションすることが最も重要



# 札幌道路事務所第2工事課 担当監督官のコメント

- 現場の意識が高く、工程表がしっかりしていたため、リアルタイムの状況がわかり、対応しやすかった。
- 各タスクの作業はサバを読まない、かなりきわどい日数で不安はあったが、サバは全体工程の最後にバッファとして、まとめて管理しているため直感的にわかりやすかった。
- 請負者が真摯にサバを読まない工程表を持ってくると、判断で現場が遅れることがないように、進捗がいつも気になる。一緒に工事を進めているという気持ちも強くなり、信頼感も生まれる。

工事名 道央圏連絡道路 当別町 篠津運河北改良工事

# 3年目のCCPM

# 必然のOne day Response

発注者 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所

請負者 砂子・荒井・福津 経常建設共同企業体

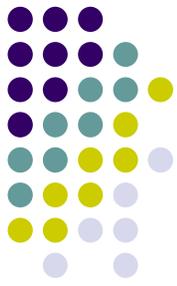
基本を忘れず

まっさらな状態から考える

それは、

工事をやる目的とは何か？

# 篠津運河北改良工事の ODSC



## O(目的)

道央圏連絡道路は  
札幌市及び空港・港湾へのアクセス向上、  
交通渋滞の緩和、交通事故の減少、  
物流効率化等を図るための道路です

軟弱地盤地域なので、

- ・地盤改良工で地盤強度を確保し、安定した橋梁下部と路体を構築し、  
次工事へ引き渡す

良い製品の早期完成に向けて、

- ・発注者と共に考え、問題点に対して素早いレスポンスを出せる体制を確立する

## D(成果物)

- ・CVC複合地盤杭(鋼管杭)
- ・橋梁下部(A2橋台)
- ・路体盛土(本線)

## SC(成功基準)

- ・橋梁下部工の有害なクラック(0.2mm以上)の発生をゼロにする
- ・工事施工中、橋梁下部(P6、A2)の変位量は $\pm 2$ mm以内を確保する
- ・路体盛土時、地表面変位杭の水平変位量は1.5cm/日以下を確保する
- ・ゼロ災害達成
- ・発注者から『工事や地域の対応が早く、且つ安心できる。』と言ってもらう
- ・工事評定86点以上

# ODSCについて



# 3年目はどうなのか？

## 担当監督官が変更になった

- 監督官の対応は前年度と同様に、協働施工していることが実感できる対応であった。
- 現場がうまくいくように提案してくれる
- 地域からの苦情があっても発注者が直接施工しているという雰囲気を感じる



差出人: ● murakami-y22ac@hkd.mlit.go.jp

送信日時: 2006/11/10 (金) 17:42

宛先: amari@tanakagumi.co.jp; shi-hayashi@isami-con.co.jp; ishiguro@nichiei.wv; takeda@miyanaga-net.co.jp; t-fukui@sakken.co.jp; sanada336@hokusei-c.jp; motoyuki\_matsuda@daitokogyo.com; shirogami@sunagonet.co.jp; katoh@doka.co.jp; t.nakamura@suehara647.co.jp; t.ici@hokudo-c.co.jp; i-satou@nakayamagumi.co.jp; hyomogida@mg.kensonet.co.jp; t-kanda@kusanosk.co.jp

CC: yoneyama-y22aa@hkd.mlit.go.jp; morimoto-m22aa@hkd.mlit.go.jp; minami-t22ab@hkd.mlit.go.jp; oonishi-k22ab@hkd.mlit.go.jp; higashizono-k22aa@hkd.mlit.go.jp

件名: 美原道路に携わる方々への連絡

以下、私の勝手な思いです。

役所の監督員は当然のことですが、公共事業に携わる方々は元請技術者から下請技術者・作業従事者・運転手・誘導員、その方々が所属する会社の責任者まで全員が目的を同じくする公共プロジェクトの一員だと考えています。

完成供用すれば地元住民だけでなく不特定多数の方々が利用し、産業活動や日常生活において、在って当たり前と言われる道路を整備するわけですから、安全で利便ある道路を作ることは当然のことですが、その過程で作業に従事するプロジェクトの一員は公共基盤整備を担っているという大きな誇りと社会人として当たり前と言われる以上の道徳心、作業周辺環境への気遣いと自分でなければこの仕事は出来ないという志を以てプロジェクトに挑んで欲しいと思います。

何を言いたいのか意味不明ですが、コイツこんなこと考へてるんだ・・・と思ってください。

\*\*\*\*\*

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

札幌道路事務所 第2工事課 第1建設

村上 勇一

E-mail: murakami-y22ac@hkd.mlit.go.jp

〒062-0912

札幌市豊平区水車町1丁目1番2号

Tel 011-811-2265(ダイヤルイン)

Fax 011-811-7033

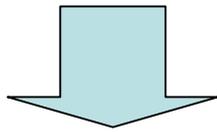
\*\*\*\*\*

広上はこの部分を抜き出し手帳に貼り付けております。感動したのでしょうか。私も感動しました。

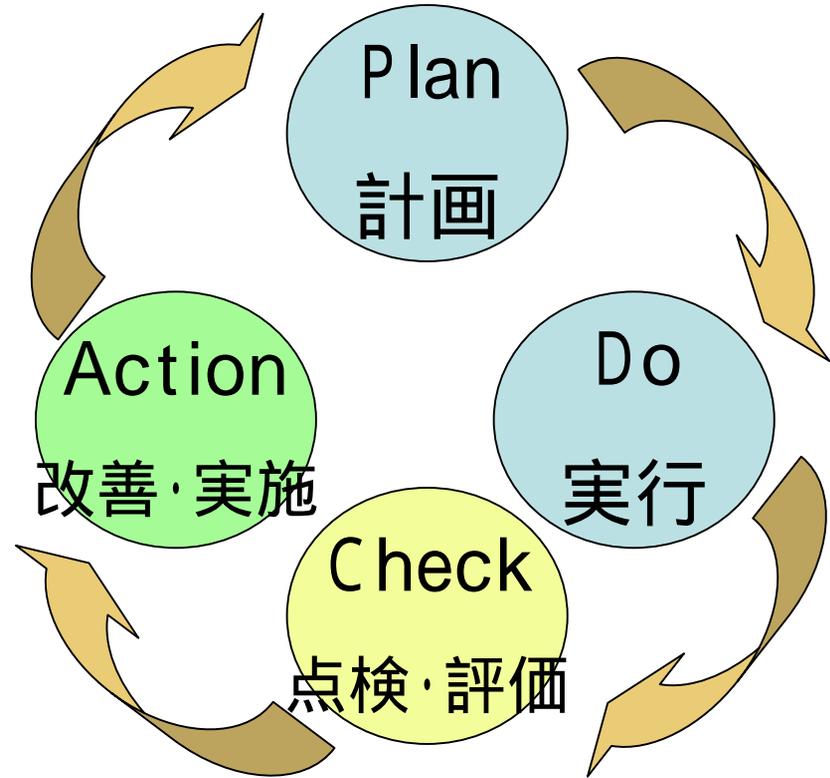
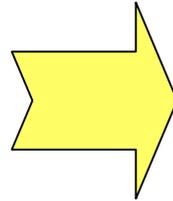
ご存知、村上係長から発進されたメールです。自らの考えを素直にそして深く考え誇りをもった「さらし」に私は感動します。発注者となこのような信頼関係が築ける現場は聞いたことがありません。  
**CCPM、One Day Response**は信頼を構築する最も合理的な手法だと思います。



工程計画



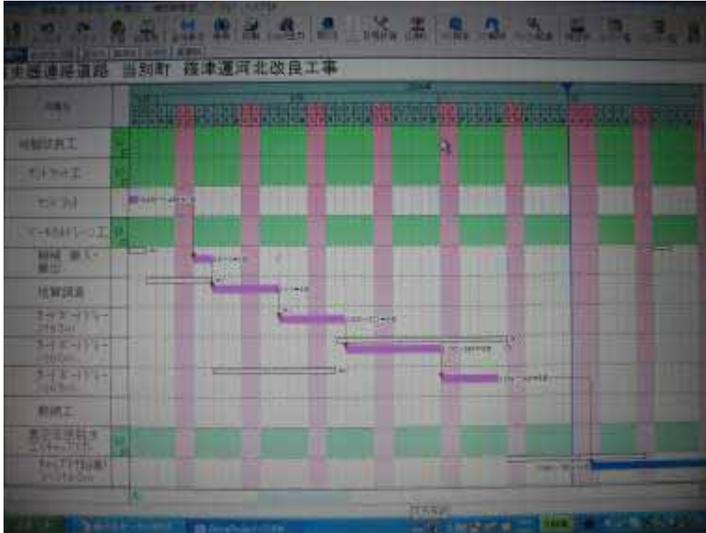
実施(現場)



検証



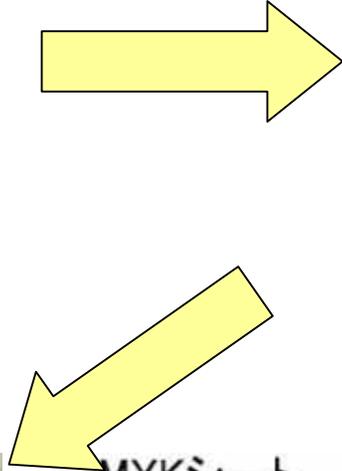
# 月曜朝7時CCPM会議



本社にて議論



現場とスカイプで確認



現場事務所で未来予知訓練

## MYKシート

「このタスクはあと何日かかりますか?」「万が一うまく行かないとしたら、それは何ですか?」

予想される未来問題	対処方法	担当	期限
日本基礎技術(DJM工法) 現在のままでは、次工程である鋼管杭の試験打設が遅れ、それに伴い鋼管杭の本打設が遅れてしまう。	1日のノルマ 13セット/日 の達成。 毎日の出来高報告及び完了日把握。	全員	2006/7/7 あと17日
	週単位での施工量も管理。 最悪の場合は日曜日も作業する。	奈田羽 日曜作業 の決定は 水曜日と する。	
	機械の故障を想定し、部品を用意する。 また、機械の専門員による定期点検の実施。	木下 週1回実 施する。	

MYK

これぞ、  
段取り八分

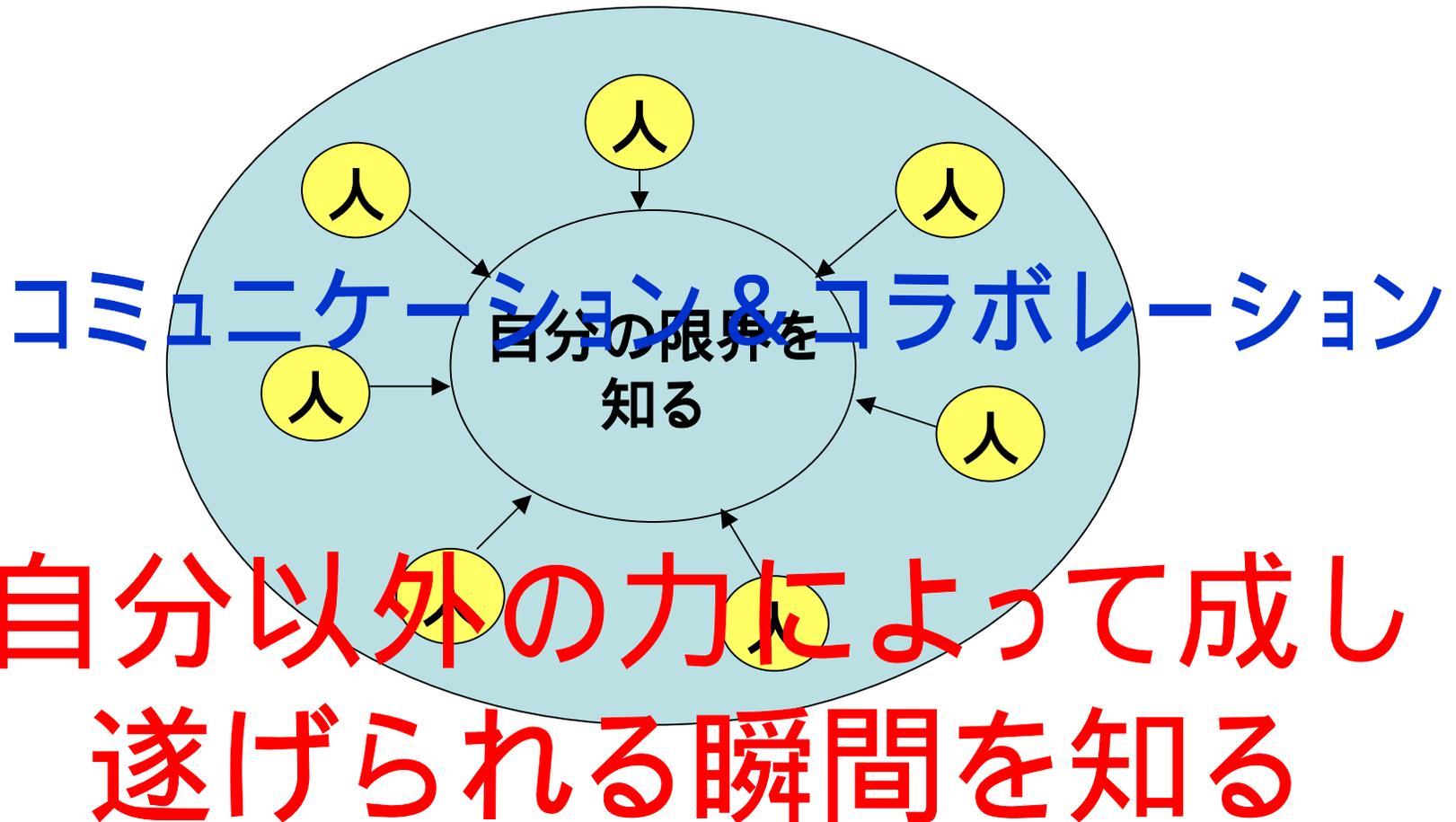
# CCPM、 One day Responseとは

ごじゅー  
ごじゅー  
ですかー？

超積極的スケジュールを計画し

ごじゅー  
ごじゅー  
ですかー？

現場はそのスケジュールにチャレンジする。



いろいろな諸問題を解決する最も合理的な手法は

人材を育成すること

CCPM、One day Responseは  
人財育成ツールである。

CCPM、One day Responseを実践すると、プロジェクトに関わる全ての人々とのコミュニケーション力を、加速させてくれるツールであると言える。

しかし、

CCPM、One day Responseを実施するには、緻密な打ち合わせを常に行う必要がある。**当たり前のことであるが、実は大変な作業である。**逆に言えば、それができなければ、CCPM、One day Responseは、なんの効果も発揮できないとも言える。

- ・公共工事を扱う請負者も発注者も、公共基盤整備を担っているという覚悟をして工事に関わる必要がある。
- ・覚悟がもてなければ意味を持たないプロジェクトとなる。

# CCPM

## One day Response

### って何？

骨格は、先読みをする考える習慣の  
コミュニケーションツールである。

三方よし  
公共事業

CCC

Day

Response

信 頼

公共工事のあるべき姿